日本の高級セダン トヨタ・クラウン特集

今回の「私のおすすめ！」では新聞部部長、和田が担当します。今回のテーマは自動車についてです。車のことを全然知らない人でも知ってるようなことをだらだらと書いてもあまりパンチがないと思うので、ガンガンマニアックなことを熱く語っていきます。少しでも、読んで興味を持ってもらえたらと思います。

今日では街中でよく見かけることが多くなったクラウン。家の車がクラウンなんて人もたくさんいるのではないでしょうか。しかし昔は「いつかはクラウン。」なんて言われるほど憧れの車でもあったのです。そんなクラウンも１４代目となり、先日東京でのイベントでは次期後継車も発表されました。さてクラウンにはどんな魅力があるのでしょうか…。今回はバブル経済絶頂期に販売されていた８代目１３型から現在新車販売されている１４代目２１型のクラウンを紹介していきます！

まずは１３型クラウン。

当時空前のハイソカーブームでトヨタの三銃士チェイサー・クレスタ・マークⅡやセリカ・ソアラ・レパードなどが流行っている時代に出たモデルで、角ばったデザインが特徴で未だファンがいるほど人気です。今も昔もこのモデルをカスタマイズして走っている人もいます。

続いて１４型クラウン。１３型に比べて少し丸くなったようなデザインで新たに上級グレード・

マジェスタが追加され、このマジェスタはアリストと兄弟車となりシャーシ（車台）を共有されました。

続いて１５型クラウン。先代のクラウンに比べて１００ｋｇ以上も軽量化しピラードドアもこの代で最後となりました。

次に１６型・・と行きたいところですが、１６型はクラウンではなくアリストが独立したため次は１７型となります。この型では１３型以来８年ぶりにスポーティーグレードにアスリートが復活

したりステーションワゴンタイプが出たりと大きく改革されました。

次に出た１８型クラウンはプラットフォーム、エンジン、サスペンションといった主要コンポーネントが刷新され、直列６気筒だったエンジンもＶ型６気筒に変更されました。クラウン生誕５０周年を記念した特別仕様車も発売され今でも大変人気のある型です。ちなみに僕が一番好きな型でもあります。

続いて１９型…と言いたいところですが今度はレクサス・ＧＳ４５０が１９型となったため２０型です。先代に比べて少しシャープになったデザインでリアのエンブレム配置が変更されました。

ラストは２１型クラウン。先代とは全く違うフロントマスクとなりました。この代ではカラーバリエーションが豊富でピンク・若草色・空色が特別仕様として発表され注目を集めました。

以上クラウンについて長々と話してみましたがいかがだったでしょうか。ちょっとマニアックすぎたと思いますが、これを機に興味を持っていただけたらと思います。

編集後記

・今回の号では校長先生インタビューと私のおすすめを担当しました。初めて四面構成にしてみましたが、いかがでしたか？　人数が少ない分、時間もかかりますが新聞らしくなったと思います。来年度もおもしろい記事が書けるように頑張ります。（和）

・新聞交流会、グルメレポート、コラムを担当しました。自分たちが体験したり取材したりしたこと、五輪について思ったことを書きました。読み応えがある記事になっていたら嬉しいです。（新）

・文化祭アンケートを担当しました。時季がずれて結果の提示が遅くなってしまったけど、改めて見るととてもうれしい意見があってよかったです。（ゆ）

・部員、大募集！

あなたも一緒に新聞を作ってみませんか？

体験入部、歓迎です☆